



韓国・国道交通省 / 産業省主催
「2014 チューニングカー大会」で
高瀬部会長、長瀬理事が講演
2014年11月21日(金)

韓国の国道交通省及び産業省の主催によるチューニングイベント「2014 チューニングカー大会」が11月21日～22日の2日間にわたり、韓国高陽市の会議・展示施設「KINTEX」で開催され、主催者に招待を受けた当振興会から、ASEA 事業部の高瀬嶺生部会長（ブリッド（株））、長瀬努理事（（株）キャロッセ）、並びに事務局が参加しました。

このイベントは、韓国国内におけるチューニング文化の拡大、安全性確保、市場活性化を目的に開催されたもので、チューニングカーコンテスト、車両展示、同時開催イベント等で構成されました。このうち、会期初日に行われた国際セミナー「チューニング国際セミナー」に当振興会として出席しました。

チューニング国際セミナーでは、VDAT（ドイツチューニングカー協会）、韓・ヨーロッパ進行公団、当振興会、他1

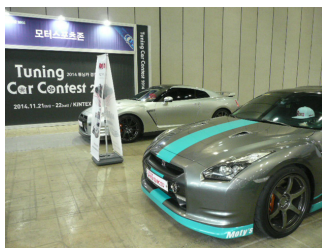
団体が講演を行い、当振興会からは高瀬 ASEA 事業部部会長並びに長瀬 ASEA 事業部理事が「日本自動車産業とチューニング市場との関連性」と題した講演を行い、日韓の自動車生産・販売・輸出の違いや日本の自動車保有状況、部品出荷、用品販売、さらに「ASEA スポーティングパーツ市場調査」の結果を報告しました。

セミナー終了後の質疑応答では、韓国国内では認可されたアフター向けの後付け「衝突防止自動ブレーキシステム」の日本での状況や、日本の排ガス規制についての質問があり、当振興会で対応しました。

その後、車両展示等の会場に足を運び、日本車や韓国車のカスタムカーやチューニングパーツの視察を行いました。



会期中は ASEA 事業部・高瀬嶺生部会長（ブリッド（株））、長瀬努理事（（株）キャロッセ）による「日本自動車産業とチューニング市場との関連性」と題した講演を行いました



GT-R のデモカー



34Z のデモカー



33Z オープンのデモカー



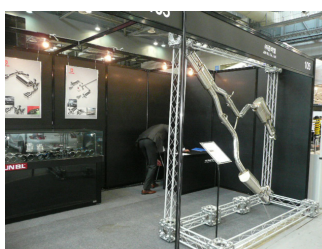
エンジンチューンの展示風景



カスタムカーの多くは韓国車がベース



「KW」ブランドの車高調キット



マフラーブース



アルミホイールブース